

第1回高槻市景観賞 表彰候補作品一覧

【建造物部門】

入選27作品（応募順、敬称略）



横山家住宅（横山医院）



郡家住宅



竹田家住宅



藪家住宅



三宅家住宅



久保家住宅



平野屋町家



田淵家住宅



坂田家住宅



辻田家住宅



壽酒造



清鶴酒造



山口医院



石河診療所



スマイルプラン
さくら歯科クリニック



十月桜の家



ホワイトローズ
イングリッシュスクール



シェアアトリエ福寿舎



学校法人成城学園
日吉幼稚園



レ・ジェイド高槻



清蓮寺



教行寺



慶瑞寺



普門寺



三輪神社



本照寺



原公民館

受賞 8 作品（応募順、敬称略）

横山家住宅（横山医院）



所在地／城北町 1 丁目

<講評> 選考部会 橋寺委員

旧高槻城下町に位置し、主屋は唯一現存する近世郷宿の遺構である。主屋 1 階には暗色の出格子が立てられ、2 階は大壁造で白く塗込められている。東には明治期に建てられた隠居棟が続く。隠居棟の中央には腕木門が設けられ、柔らかい色合いの塀が敷地を囲い、街並みに変化を与えつつ、調和のとれた景観を構成している。歴史を踏まえて整えられた前面の通りとともに、ここが城下町であったことをリアルに伝えてくれる。

郡家住宅



所在地／野見町

<講評> 選考部会 安田委員

騒々しい幹線道路から一步南の街区、城下町特有の丁字路から下ると低層の建物が並び空が開ける。その並びに上部白漆喰、腰豎板張りの塀が 40 m ほど続き、中央部には腕木門と長屋が設えてある。ここは往時の高槻城出丸の辺り、武家屋敷が並んでいた。その光景を彷彿とさせるのがこの建物である。背後の主屋であろう建物の藁の趣きも合わせ、郡家住宅は将来にわたって継承されていく文化的景観に寄与する優れた建造物である。

久保家住宅



所在地／芥川町2丁目

<講評> 選考部会 安田委員

西国街道芥川宿には往時をしのばせる街並みが今も残る。その中でも一段と格調高く門戸を構えるのが元脇本陣の久保家住宅である。上部黒漆喰、腰豎板張りの塀を脇に控え玄関と格子戸のある主屋が街道に面する。中二階の白漆喰壁には黒漆喰の虫籠窓が配され、袖には卯建（うだつ）が建つ。外観は極めて良好に維持され、その他の設えも注意深く配され宿場町の面影を今に伝える。貴重な街道景観を次代に継ぐ極めて重要な建物である。

壽酒造



所在地／富田町3丁目

<講評> 選考部会 藤本委員

酒造りが盛んであった時代を彷彿とさせる町角を形成し、富田独自の景観を継承している。歴史的建造物が今も点在する中で、現役で地域産業も引き継ぐ役割を担っている。板張りの塀の上にのせられた豊かな植栽の手入れも行き届き、白壁と板張りのコントラストも美しい。塀に貼り付けられた古くからの立体サインがアクセントとなり、地域の個性をさらに高めている。室外機、メーターなどの遮蔽が工夫されることで、さらに評価が高まる。

清鶴酒造



所在地／富田町6丁目

<講評> 選考部会 橋寺委員

清鶴酒造は江戸期に隆盛を極めた富田酒を今も作り続ける蔵元の一つである。旧来の細いT字型の街路に面して、南側に繊細な格子と黒壁が印象的な主屋、北側と東側に焼杉壁の蔵があり、複数の建物で構成される貴重な街路景観である。東側の蔵は会社のシンボルマークにもなっている3つ並びの蔵で、妻側が見える北からの景観も印象的である。2018年の災害により北側の蔵は改修を余儀なくされたが、景観に配慮したものとなっている。

シェアアトリエ福寿舎



所在地／城北町1丁目
完成年／1989年（改修）
設計者／ミックスラボ
施工者／清水工務店

<講評> 選考部会 藤本委員

元酢醸造所としてもものづくりを支えてきた100年以上の町家が、再びものづくりの人々を支える目的を持って蘇ったりノベーション施設である。高槻の中心部の町並みに、歴史の重みを持って凛と佇む姿は、地域景観の質をその存在だけで高めている。昔の工法、技を引き継ぎ細部の工夫で活かされている。看板、照明、タープなどそれぞれに込めた思いが伝わり、さらに魅力を高めている。掲示のチラシなど小物の整理が進むことを望む。

学校法人成城学園 日吉幼稚園



所在地／日吉台6番町
完成年／2016年（新築）
設計者／無有建築工房
施工者／藤木工務店

<講評> 選考部会 加我委員

閑静な住宅街の中で、小高い丘の上に位置する園舎は、勾配屋根により街のランドマークとなりながら、外壁に木材を使用することで周辺の住宅のまち並みへの調和も図られている。敷地西側の高低差を処理する擁壁は、セットバックさせながら雛壇状に分節し、高さや角度を変化させ、8種類の煉瓦タイルの組み合わせによって多様な素材感も演出され、隙間に植栽された四季折々の花や木々と相まって道ゆく人を楽しませてくれている。

本照寺

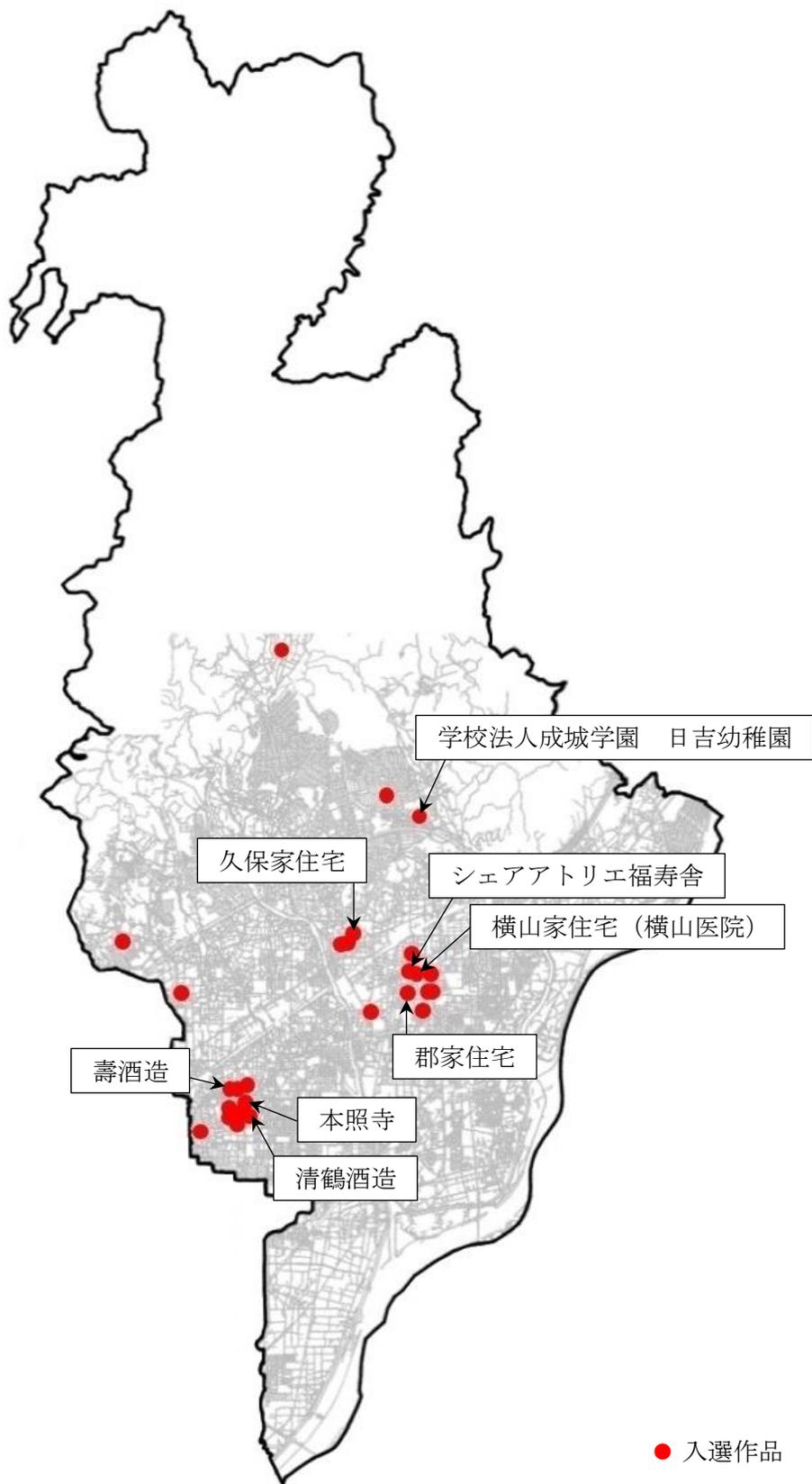


所在地／富田町4丁目

<講評> 選考部会 加我委員

室町時代に創建された本照寺は、江戸時代中期に再建された本堂が本山格の浄土真宗寺院を代表する建造物として平成2年に市の有形文化財に指定され、同時代に建立されたとされる山門・東門・鐘楼も平成17年に市の有形文化財に指定されている。通称「富田御坊」とも呼ばれる本寺は、寺内町を形成していた富田のシンボル、また、本堂の大屋根は地域のランドマークとして、地域住民に親しまれる歴史的街並み資源である。

入選作品及び受賞作品位置図



「市民賞」6作品（応募順、敬称略）

横山家住宅（横山医院）



所在地／城北町1丁目

清鶴酒造



所在地／富田町6丁目

ホワイトローズイングリッシュスクール



所在地／城内町

完成年／2014年（新築）

設計者／(株)Horibe Associates

施工者／小阪工務店

三輪神社



所在地／富田町4丁目

本照寺



所在地／富田町4丁目

原公民館



所在地／大字原

【景観まちづくり活動部門】

受賞2作品（応募順、敬称略）

高槻レンゲ振興会



活動範囲／三島江地区

活動概要／春、一面に広がるレンゲ畑を無料で一般開放。昭和57年より「レンゲまつり」を開催され、様々な催しも行われている。

<講評> 選考部会 久委員長

三島江地区に広がる水田風景そのものも美しい景観であるが、とくに春先にレンゲが咲き乱れる風景は、農村風景に彩りを添えている。高槻レンゲ振興会は長い年月をかけてこうした風景をつくりだし、また「レンゲまつり」で地域住民に楽しんでもらう活動を続けている。レンゲの咲く水田は住民に開放され、花摘みなど子どもたちが自然に触れ合う場所にもなっている。

NPO法人 花と緑のまちづくり 高槻景観園芸クラブ



活動範囲／市内各所

活動概要／平成16年より、あまり管理されていなかった緑地などで花壇づくりに取り組み、担い手育成や市民交流にも活動を発展されている。

<講評> 選考部会 久委員長

JR高槻駅前のロータリーを始め、道路交差点や歩道など、公共空間を花いっぱいにし、高槻市の顔づくりに貢献してもらっている。また、市との共催で「花と緑のまちづくり講座」を開催し、花育ての仲間を増やし、継続した活動の基盤づくりにも努めている。JR高槻駅のロータリーから始まった花育ての活動は、仲間の広がりとともに活動も広がりを見せ、点から線、そして面への展開となっている。